

主要論点説明

1 グローバル経営のフレーム

- (1)市場のグローバル展開と内外の経営資源のグローバル最適な活用
- (2)マネジメントサイドの経営のグローバル化

2 グローバルに効果的なイノベーションの実現と効率的な既存品の製品供給のあり方

(1)先進国

オープンでグローバル最適な生産・研究開発の仕組み、本国ベースの生産・研究開発の仕組み

(2)途上国

例えばASEAN諸国等、国、地域単位での現地生産から研究開発への進化の方向
タイの自動車産業における産業集積、AFTA,FTA,EPAの制度環境変化の効果

3 グローバル経営とイノベーションを説明する統合的な全体フレームワークの構築

4 新しい代表的な産業群の中の先進的な企業の事例でこのフレームワーク

の妥当性を確認する。可能な事例を紹介する。

5 今後の日本企業のグローバル経営、グローバルイノベーションについて、

政府の果たすべき役割を念頭において、その課題と対応の方向を探る。